

研究テーマ 地場産業の教材開発を通して、児童が主体的に探究する指導の工夫  
—第4学年 「狭山茶づくりがさかんな入間市」—

**【提案】**

埼玉県内のどこの都市で何が多く作られ、どれぐらいの生産量があるのか、そして、なぜその土地の地場産業として盛んに生産されているのか、具体的な理由を知る児童は少ない。「入間市の狭山茶」については、狭山茶の成り立ちや入間市で製造が盛んになった地理的理由を学習することができる。また、狭山茶を広めるための工夫や取組についても学ぶことができる。狭山茶の試飲や社会科見学などの体験的活動から児童に狭山茶についての問いをもたせ、その社会的事象について主体的に探究するように指導していく。「県内の特色ある地域の地場産業」について歴史的観点、地理的観点、狭山茶に携わる人々の思いを深く学ぶことができる本単元の実践の提案をする。



【社会科見学の様子（入間市の茶畑）】

## 1 実践のポイント

### (1) 体験的な活動を計画的に入れた学習過程

児童が主体的に「この学習問題を解決したい」と思うためには、主体的に問いをもたせることが大切である。そこで、本小単元の導入では、児童に急須で入れた狭山茶を味わう体験を行った。児童の味覚や嗅覚から感じ取らせることによって、狭山茶の作り方や、味の秘密について調べたいという思いを引き出すことができると考えた。また、社会科見学で茶園や製茶工場見学を通して、どこで、どのように狭山茶が生産されているかなど、主体的に深く学習することができると考え、社会科見学が、より効果的な学習手段となるように学習過程に組み入れた。

### (2) 児童が対話的に学び合える時間の確保

授業では、児童による主体的な学び合いができるように、自力解決の後、グループによる話し合い活動などの時間を設定した。また、「まとめる」の過程では、単元を通して学んだことを観点ごとにまとめたリーフレットづくりを行った。作成途中には、児童が互いに読み合うなど意見交流を行った。完成後は、リーフレットについて良さを伝え合うなど、児童が学び合う場面を意図的に計画した

## 2 実践の位置づけ

### (1) 小学校学習指導要領との関連

内容 (5) 県内の特色ある地域の様子について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア(ア) 県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解すること。

(イ) 地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめること。

イ(ア) 特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現すること。

本小単元では、「伝統的な技術を生かした地場産業」として現在も営まれている入間市の茶業について学習する。入間市の位置の他に、茶業が盛んに行われるようになった自然環境や歴史的背景に着目して調べるようにする。また、味にこだわる狭山茶の伝統的な製造工程や、茶業を守り、広めていくための関係する人々の工夫や努力について学習させたい。

### (2) 実践のポイントの学習評価との関連

#### ・子供のパフォーマンスを適切に評価する教師の見取り

第1時の導入や社会科見学などの体験的な学習活動をしているときの「どのように狭山茶が作られるのだろうか?」、「いつごろから狭山茶は作られているのだろうか?」、「どうして狭山茶はおいしいのだろうか?」など、児童が主体的に感じた問いをノートに記述した内容から評価し見取ることで、これから単元を通して学ぶ社会的事象について、児童がより深く学べる基盤となると考える。

#### ・子供をより良く見取るための多様な評価方法の実施

単元の終末の「生かす」では、単元を通して学んだことを観点別にまとめたリーフレットを作成した。単元を通して学習したことを観点ごとにまとめることで、その児童が「何をどこまで深く学ぶことができたか」を評価できるように設定した。そして、作成したリーフレットを生産者や茶業組合に送り、児童が狭山茶を広めていく一端を担う存在であると感じられるように支援を行った。

## 3 実践の内容

### (1) 単元の目標と評価規準

茶業のさかんな入間市の様子について、位置や自然環境、歴史的背景、茶業に携わる人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種資料を活用して調べて、地域の様子を捉える。そして、それらの特色を考え、表現することを通して、茶業に携わる人々は古くから伝わる伝統的な技法を受け継いで、様々な立場の人々と協力しながら特色あるまちづくりや茶業の発展に努めていることを理解できるようにする。また、入間市のさかんな茶業について、学習問題を主体的に調べ解決しようとする態度を養うとともに、伝統的な狭山茶づくりを大切にしていこうとする態度を養う。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 入間市では古くから自然環境を生かした茶の製造・販売が盛んであり、人々の協力によりその技術を受け継いでいること、様々な立場の人々の取組により特色あるまちづくりが進められていることなどを基に、入間市では茶業に携わる人々が	① 入間市における茶業の成り立ちや現代まで継承されていることについて問いを見だし、入間市の地理的な位置、自然環境の条件と茶業に携わる人々の協力関係を関連付けて考え、文章や話し合いで表現している。	① 入間市でさかんな茶業について関心をもち、問題解決の見通しをもって主体的に学習問題を追究・解決しようとしている。 ② 入間市の狭山茶づくりに携わる人々が地域社会を、よりよく発展しようとしていることについて、考えようとしている。

協力して特色あるまちづくりや茶業の発展に努めていることを理解している。 ② 入間市でさかんな茶業の様子について、インターネット、資料などを使って調べ理解している。	② 茶業やまちづくりに取り組む人々の活動と地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、茶業のさかんな入間市の特色を考え、表現している。	
--------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------	--

**(2) 指導計画と評価計画（10時間）**

○内の数字は時間を表す。

**知**：知識・技能

**思**：思考・判断・表現

〈 〉内は評価の方法を表す。

**態**：主体的に学習に取り組む態度

	学習活動・学習内容	評価の観点・内容・方法	資料
つかむ	① 写真や具体物から入間市の特産品が茶であることを調べて、入間市での茶の栽培について関心をもつ。 ・狭山茶の具体物 ・狭山茶の試飲 ・入間市の茶畑 ・入間市の位置、地形、地図の活用  <b>実践のポイント(1)</b>	<b>態①</b> 入間市の狭山茶について関心をもとうとしている。 〈発言・ノート〉	・狭山茶具体物 ・急須で入れた狭山茶 ・ペットボトルの緑茶 ・茶畑写真 ・入間市地図（三郷市との位置関係） ・茶畑地図記号
	② 写真や具体物から気づいたことを話し合い、学習問題をつくり、学習計画を立てる。 ・狭山茶について知りたいこと ・狭山茶の歴史 ・入間市の地理 ・狭山茶のつくりかた ・狭山茶の広まり ・学習問題をつくる  学習問題 入間市では、どのようにして狭山茶づくりがさかんになり、だれがどのようにして広めようとしているのだろうか。	<b>態①</b> 疑問に思ったこと、調べたいことを発表し合い、整理して学習問題を設定している。 〈発言・ノート〉	・入間市茶畑の写真 ・入間市地図 ・狭山茶の具体物
調べる	③ 入間市では狭山茶の生産がどのようにして広まったのか調べる。 ・狭山茶歴史年表 ・人物（吉川温恭・高林謙三） ・浮世絵 ・狭山茶輸出	<b>知①</b> 年表や資料を基に狭山茶の歴史について理解している。 〈発言・ノート〉	・年表 ・狭山茶浮世絵写真 ・茶の輸出写真資料 ・人物写真資料
	④ 入間市では、なぜ狭山茶の生産が広まったのか調べる。 ・入間市の茶畑が多い地域 ・茶の木が育ちやすい条件 ・武蔵野台地 ・入間市の気候条件 ・上湿下乾	<b>知②</b> 土地の様子、気候条件についての資料を基に、狭山茶の製造が広まった地理的理由について理解している。 〈発言・ノート〉	・入間市内の茶園が多い地域 ・茶の木が育つ条件 ・武蔵野台地の様子

	<p>⑤ 社会科見学を通して、狭山茶の製造の仕方を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茶の製造の仕方</li> <li>・防霜ファン</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"><b>実践のポイント(1)</b></div>	<p><b>知①</b> 社会科見学を生かして、狭山茶の製造の仕方を理解している。</p> <p>〈ワークシート〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶畑見学</li> <li>・製茶工場見学</li> <li>・防霜ファン実物</li> </ul>
	<p>⑥ 狭山茶づくりでは、どのように工夫して作られているかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「色は静岡、香りは宇治よ、味は狭山でとどめさす」(茶摘み歌の一説)</li> <li>・狭山火入れ</li> <li>・自園、自製、自販</li> <li>・茶園一軒ごとに味が異なる</li> <li>・静岡県の茶の大産地との製造の仕方の比較</li> <li>・狭山茶の特徴「味の多様性」</li> <li>・狭山茶を作る人の味への思い</li> </ul>	<p><b>知①</b> 味にこだわる狭山茶づくりでは、どのような点に工夫して製造しているのかを調べている。</p> <p>〈発言・ノート〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科見学写真資料</li> <li>・「味は狭山でとどめさす」資料</li> <li>・茶葉の特徴</li> <li>・「狭山火入れ」</li> <li>・自園、自製、自販の資料</li> <li>・大産地の茶の製造方法</li> </ul>
	<p>⑦ 狭山茶づくりを守り、広めるために、仕事に携わる人々は、どのような工夫や協力をしているのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茶業組合の取組</li> <li>・生産者の取組</li> <li>・T1 グランプリ</li> </ul>	<p><b>思①</b> 狭山茶を守り、広めるための人々の思いや協力関係などを考えている。</p> <p>〈発言・ノート〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新茶まつり資料</li> <li>・T1 グランプリ資料</li> <li>・狭山茶関連商品</li> </ul>
<p>ま と め る</p>	<p>⑧ 調べたことをもとに、学習問題の結論をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習してきたことを観点ごとに分類し、まとめる</li> <li>・学習問題の結論を考える</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>学習問題の結論</b></p> <p style="text-align: center;">入間市の狭山茶づくりでは、古くからの歴史があり、地域の自然環境を生かし、一軒ごとに味にこだわり、工夫して製造している。また様々な立場の人々が協力して狭山茶を広めようと努力している。</p> </div>		
	<p>⑨ 学習したことをもとにリーフレットにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレットには、狭山茶の歴史的背景、製造に関わる地理的背景、製造の工夫、広めるための工夫を観点ごとにまとめている</li> <li>・作成途中や完成したリーフレットをもとに意見交流する</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"><b>実践のポイント(2)</b></div>	<p><b>思②</b> 学習問題の結論を基に、入間市の狭山茶づくりについて観点を明確にしてリーフレットにまとめている。</p> <p>〈リーフレット〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習で使用した資料</li> </ul>
	<p>⑩ 作成したリーフレットを茶業組合の人へ紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレットを紹介する。</li> </ul>	<p><b>態②</b> 作成したリーフレットをもとに味にこだわる狭山茶について発信している。</p> <p>〈リーフレット〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレット</li> </ul>

#### 4 実践の結果と考察

##### (1) 地場産業の特色を調べる中で、単元の導入にて、児童が教材と主体的に関わりをもち、学習意欲を高める。(主体的な学び)

小単元の導入では、児童が主体的に狭山茶について興味、関心をもつように、全国の茶の生産量ランキングを提示したり、ペットボトルのお茶と、急須で入れた狭山茶の味や香りの違いを感じさせたりした。

茶葉の収穫量 【令和元年】 (農林水産省 統計部資料)	1位	静岡県	118,400t
	2位	鹿児島県	112,600t
	3位	三重県	24,000t
	4位	宮崎県	14,600t
	5位	京都府	11,200t
		↓	
	11位	埼玉県	3,480t



どうして、茶葉の収穫量が11位なのに、狭山茶は有名なのか、児童に問いをもたせた。

##### <考察>

##### 【第1次の導入での狭山茶の試飲の様子】

茶葉の収穫量が全国で11位であるのに、どうして狭山茶が有名であるのか考えさせた。そこには、茶摘み歌の一節「色は静岡、香りは宇治よ、味は狭山でとどめさす」があった。また、児童には、急須で入れた狭山茶を試飲させ、その味のおいしさを味覚で感じ取らせた。そのことにより、児童が主体的に狭山茶の製造の仕方や歴史などについて調べようとする学習意欲を向上させることにつながった。

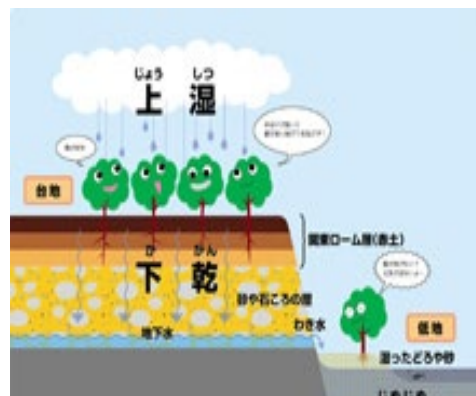
##### (2) 狭山茶の歴史・狭山茶製造の地理的要因・狭山茶の製造の仕方や工夫・狭山茶に関わる人々の思いなど、観点を明確にしたリーフレットの作成

「まとめる」では、児童が主体的に狭山茶について学習してきたことを、4コマリーフレットにまとめた。その際、単元を通して何を学び、そしてリーフレットを通して何を伝えたいのか、観点を明確にしてまとめさせるようにした。

##### 第3時：狭山茶の歴史

##### 第4時：茶製造の地理的要因

##### 第6・7時：製造の工夫

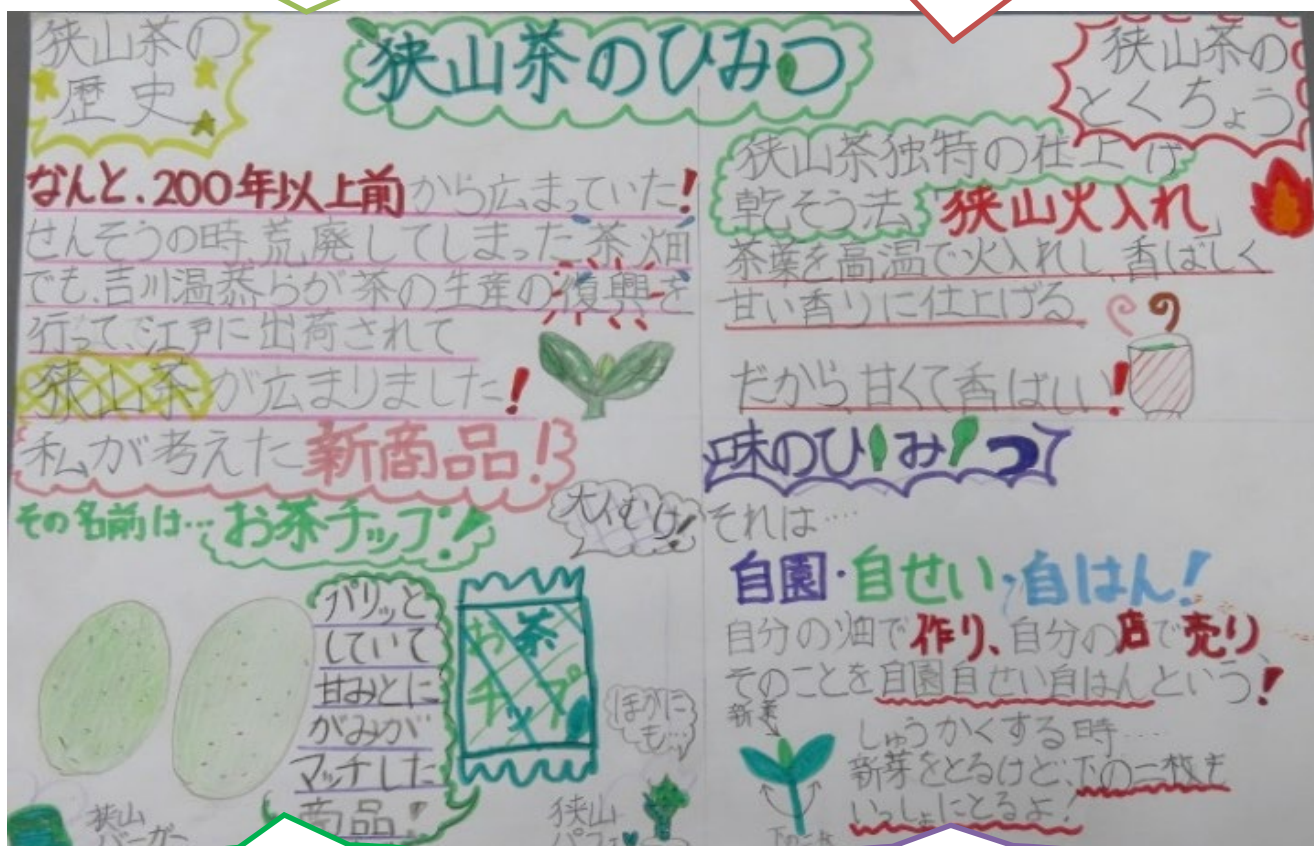


第9時：学習したことをもとにリーフレットにまとめる。

単元を通して学んだ内容を4つの観点にまとめた「4コマリーフレット」に仕上げた

狭山茶は、200年以上の歴史がある。

製造の工夫「狭山火入れ」で甘く香ばしく仕上げる。



児童が考えた狭山茶を使った新商品

狭山茶の特徴は「自園・自製・自販」一軒ごとに味が異なる。

#### <考察>

単元の終末で、児童がまとめたリーフレットをクラスや茶園へ紹介したことにより、単元全体を通して、児童相互による活発な学び合い活動を展開することができた。

### 5 研究の成果と今後の課題

#### <成果>

- ・導入で、児童に体験的な活動をさせたことで、調べる過程でも、一人ひとりが高い学習意欲を継続してもち、本単元を通して主体的に学ぶことができた。
- ・社会科見学を生かした指導計画は、児童にとって楽しく深く学ぶことができた。
- ・完成したリーフレットを茶園に紹介したことにより、「社会とかかわる」につながる手立てとなった。

#### <課題>

- ・静岡県や鹿児島県など、他の茶の生産地域について比較資料を提示することが少なかった。今後は他地域の生産方法などを提示することにより、狭山茶の特徴を様々な角度より、より深く捉えさせたい。